

オーディオ実験室収載

Hi-Res Editor の評価(2)

—再生音の試聴(2)—

1. 始めに

前報(1)に引き続き、USB-DAC を替えて Hi-Res Editor の試聴を行います。

2. Hi-Res Editor の試聴方法

今回は前報(1)の micro iDSD を城下工業の DA-10 に替えて試聴を行います。すでにインストール済の Hi-Res Editor を立ちあげて、オーディオデバイス選択の項を見ると既にインストールされている DA-10 のドライバーが出てきますので、それを選択します。

今回の試聴ルートは、次のルートで試聴しました。

PC→HiFi USB →DA-10→DA-3000→MYTEK Digital 192-DSD

ここで DA-3000 には ABS-7777 から 44.1KHz のクロックを入力しています。DA-10 に外部クロックを入れるとうまくロックしなかったので、クロック入力なしで再生しました。

音質評価のソフトの対照は HQPlayer とし、音質評価は次のような音源を再生してみました。音源は前報(1)と同様です。

128sDSF 音源→128sDSD 再生

192KHz24bitWAV 音源→192KHzPCM 再生

192KHz24bitWAV 音源→128sDSD 再生

3. Hi-Res Editor の試聴結果

Hi-Res Editor は DA-10 をすぐに認識し、128sDSF 音源→128sDSD 再生を問題なく再生できました。128sDSF 音源→128sDSD 再生について Hi-Res Editor と HQPlayer とを比較すると、聴いた感じではほとんど差がなく、Hi-Res Editor と DA-10 の相性は良さそうです。

PCM 音源について Hi-Res Editor は 192KHz24bitWAV 音源→192KHzPCM 再生の場合問題なく再生できました。また、192KHz24bitWAV 音源→128sDSD 再生も可能でした。

Hi-Res Editor と HQPlayer とを比較すると、聴いた感じではほとんど差がなく、PCM 再生でも Hi-Res Editor と DA-10 の音質的な相性は良さそうです。

DA-10 も久しぶりに聴いたのですが、パワーリベラメントの効果が効いて、以前とは印象が異なってきています。

4.まとめ

Hi-Res Editor と DA-10 とは音質的に相性が良い組み合わせです。DA-10への外部クロック入力については課題としておきます。

以上